

病院名	神戸市立医療センター中央市民病院		薬剤師病棟活動値	12.19	常勤換算10.7
設立団体	地方独立行政法人神戸市民病院機構		資料制作	2021年 3月	現在
所在地	〒650-0047 神戸市中央区港島南町二丁目1番地の1			電話	078-302-4321
病院長	木原 康樹 先生	HP	<a href="http://chuo.kcho.jp">http://chuo.kcho.jp</a>		
病院概要					
病院機能評価	3rdG:Ver.2.0一般病院2(500床以上)(主たる機能)				
承認指定	救命救急センター、総合周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院、エイズ治療拠点病院、第一種感染症指定病院、第二種感染症指定病院、地域がん診療連携拠点病院、病院機能評価認定施設、DPC対象病院、非血縁者間造血幹細胞移植認定施設・診療科（カテゴリー1）、非血縁者間骨髄採取認定施設、肝疾患専門医療機関、非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設、兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院				
許可病床数	768 床	一般	750 床	精神	8 床
診療科目	環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、膠原病・リウマチ内科、緩和ケア内科、感染症科、精神・神経科、小児科・新生児科、皮膚科、外科・移植外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、救急科、総合内科				
特別診療施設	救急病棟 32床、E-ICU 8床、CCU 6床、第2救急病棟 8床、MPU 8床を設置。1階の救命救急センター（手術室フロア）に救急車が直結できる。4階の手術部門は手術室18床のうち1室を救急専用の手術室に確保している。				
関連病院・分院など					
1日平均患者数	外来	1473 名	入院	513 名	平均在院日数 11.4 日
処方せん発行	外来	枚	院内	枚	院外処方
後発医薬品使用率	入院数量ベース	%	手術件数	7454 件	薬剤師 常駐
医療スタッフ	医師	334 名	常勤	334 名	研修医 31 名
地域連携など	歯科医	7 名	研修医	3 名	歯科衛生士 5 名
備考	看護師	1085 名	常勤	名	非常勤 名
薬剤部情報	理学療法士	30 名	作業療法士	9 名	臨床検査技師 62 名
薬剤部長先生	室井 延之 先生				
薬剤部のミッション					
薬剤部の組織・部署	処方箋調剤（電子カルテシステムと連携した調剤システム（調剤監査システム、自動薬袋作成、自動錠剤分包、処方監査システム）を稼働）、ロボット調剤室（自動薬剤ピッキング装置、散薬調剤ロボット、ピッキングサポートシステム）を導入し、調剤のデジタル化を進めている。 注射薬調剤、化学療法室業務（抗がん薬調製ロボットを導入）、製剤、注射薬無菌調製、薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務、入退院支援業務（周術期サポートチームを設置）、薬物血中濃度モニタリング（TDM）、医薬品管理、麻薬管理、医薬品情報管理業務、治験・臨床研究支援業務				
薬剤師数	76 名	常勤	63 名	非常勤	4 名
薬剤部スタッフ	薬剤部長、副部長3名、主幹1名、院長補佐・参事1名、主査13名、主任2名、薬剤師常勤63名、薬剤師非常勤4名、薬剤師レジデント9名、事務員・薬剤補助員10名				
薬剤師比率	常勤	12.19	常勤換算	10.67	うちレジデント 9 名
薬剤師の出身大学					
病棟活動	救命救急センターや集中治療室を含むすべての病棟に薬剤師を配置している。 ベッドサイドでの活動や患者のアドヒアランスの向上活動や自己管理への支援、副作用回避のための処方提案など、安全で効果的な薬物治療の提供に努めている。				
病棟薬剤業務実施加算	件	無菌製剤処理量算定件数		件	
薬剤管理指導業務	外来がん化学療法/患者数		件		
チーム医療の実施	外来化学療法チーム、HIV・AIDSサポートチーム、緩和ケアチーム、栄養管理チーム、感染管理チーム（ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）、糖尿病療法指導チーム、心臓リハビリテーションチーム、心不全チーム、間質性肺炎サポートチーム、精神科リエゾンチーム、認知症ケアチーム				

<p>具体的な内容</p>	<p>外来化学療法チーム / 抗がん薬の処方チェック、レジメン管理、無菌混合調製、患者への副作用説明等を行うなどがん化学療法の実施している。保険薬局と連携し外来での抗がん薬治療を安全に継続できるよう支援。  HIV・AIDSサポートチーム / 服薬方法に注意が必要な薬、特有の副作用を持つ薬、大きく服用しづらい薬などの精神的不安、身体的障害などに対して他職種と連携をとりながら様々なサポートをしている。  緩和ケアチーム / 緩和ケア外来において医師、看護師らの診察に同席し、症状緩和に関する薬剤の処方提案を、患者に対する服薬指導を行う。  栄養管理チーム (NST) / コアチームカンファレンスや病棟のサテライトNSTで、静脈栄養のプランニング、電解質管理、合併症等について薬学的視点から提案し、教育活動にも参加。  感染管理チーム (ICT) / 抗菌薬や消毒薬の適正使用への助言、使用統計、TDMなど薬剤師の専門性を活かして院内感染対策に努めている。  抗菌薬適正使用支援チーム (AST) / 感染症治療が最適となるようサポート。抗菌薬の適正使用の推進に努めている。  リスクマネジメント / 医療安全管理室での活動に参加している。  糖尿病療法指導チーム / 糖尿病療養指導士として、患者が前向きに治療に取り組み、自己管理できるように支援。カンファレンスへの参加や他職種との情報交換、回診への同行などを通じて治療方針や患者の状態を把握し、治療全般にわたって支援できるように取り組んでいる。  心臓リハビリテーションチーム / カンファレンスに参加し、他職種と連携をとりながら効果的な薬物治療を行えるように努めている。  心不全チーム / 末期心不全患者を対象に、多職種で退院後を見据えた治療方針を検討する。  間質性肺炎サポートチーム / 薬剤師は外来で抗線維化薬などの薬物療法を始める患者や家族に、服薬の注意点や副作用とその対策について説明し、副作用モニタリングを行いながら治療継続をサポートしている。  精神科リエゾンチーム / せん妄・認知症における周辺症状・抑うつ等の精神症状を有する入院患者さんに対し、薬物治療・心理教育などで治療が継続できるようサポートしている。  認知症ケアチーム / 薬剤師は多剤併用や睡眠導入剤の使い方、痛みのコントロールなどの薬物療法を提案している。</p>																																																																								
<p>薬剤師外来など</p>	<p>内服薬確認外来、経口抗がん薬 薬剤師外来、間質性肺炎 薬剤師外来、C型肝炎治療薬 薬剤師外来、サリドマイド・レナリドミド・ポマリドミド薬剤師外来、HIV薬剤師外来  ○内服薬確認外来  専門ブースや入院前準備センターにて、入院前の患者さんの常用薬を調べ、当院採用の有無や代替薬の紹介、手術前中止薬の中止状況の確認を行います。  ○経口抗がん薬 薬剤師外来  抗がん薬の服用状況や副作用の確認を医師の診察前に実施（予診）し、患者さんの状態をカルテに記載するとともに、必要に応じて医師に処方提案します。  ○間質性肺炎 薬剤師外来  間質性肺炎治療薬の服薬状況や副作用の確認を医師の診察前に実施し、患者さんの状態をカルテに記載するとともに、必要に応じて医師に処方提案します。  ○C型肝炎治療薬 薬剤師外来  C型肝炎ウイルスに対する治療薬である直接作用型抗ウイルス薬の効果を最大とするために常用薬との相互作用を最小限にし、必要な服薬方法の指導および服薬状況の確認を行います。また、治癒後も肝硬変・肝発がんリスクは残ることを説明し受診・受検継続の必要性についても説明しています。  ○サリドマイド・レナリドミド・ポマリドミド 薬剤師外来  サリドマイドやレナリドミド、ポマリドミドが処方された患者さんに対し、医師の診察後の投薬時に、適切な使用・管理方法の説明や薬剤の管理状況確認、服薬の重要性について理解を深められるよう指導を行っています。  ○HIV薬剤師外来  HIV治療薬の副作用チェックや病気の悩みなど、随時、面談を実施</p>																																																																								
<p>安全管理</p>																																																																									
<p>院内感染対策</p>	<p>院内感染対策/医療の質と安全性の向上をめざして専従薬剤師を配置し、医療安全管理室での活動にも参加。</p>																																																																								
<p>専門薬剤師 2021年10月1日現在</p>	<table border="1"> <tr> <td>がん専門薬剤師</td> <td>5</td> <td>名</td> <td>医療薬学専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>がん指導専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> <td>感染制御専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>薬物療法専門薬剤師</td> <td>1</td> <td>名</td> <td>精神科専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>腎臓病薬物療法専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> <td>栄養サポート専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師</td> <td>9</td> <td>名</td> <td>医薬品情報専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>日本病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> <td>日本病院薬剤師会HIV感染症専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>日本臨床腫瘍薬学 会外来がん治療専門薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> <td></td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>がん薬物療法認定薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> <td>抗菌化学療法認定薬剤師</td> <td>2</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>日本医療薬学会 認定薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> <td>薬物療法指導薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>日本医療薬学会 指導薬剤師</td> <td>4</td> <td>名</td> <td>緩和薬物療法認定薬剤師</td> <td>3</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>日本医療薬学会 がん指導薬剤師</td> <td>2</td> <td>名</td> <td>緩和医療暫定指導薬剤師</td> <td>2</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> <td>腎臓病薬物療法認定薬剤師</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table>	がん専門薬剤師	5	名	医療薬学専門薬剤師		名	がん指導専門薬剤師		名	感染制御専門薬剤師		名	薬物療法専門薬剤師	1	名	精神科専門薬剤師		名	腎臓病薬物療法専門薬剤師		名	栄養サポート専門薬剤師		名	日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師	9	名	医薬品情報専門薬剤師		名	日本病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師		名	日本病院薬剤師会HIV感染症専門薬剤師		名	日本臨床腫瘍薬学 会外来がん治療専門薬剤師		名			名	がん薬物療法認定薬剤師		名	抗菌化学療法認定薬剤師	2	名	日本医療薬学会 認定薬剤師		名	薬物療法指導薬剤師		名	日本医療薬学会 指導薬剤師	4	名	緩和薬物療法認定薬剤師	3	名	日本医療薬学会 がん指導薬剤師	2	名	緩和医療暫定指導薬剤師	2	名	日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師		名	腎臓病薬物療法認定薬剤師		名
がん専門薬剤師	5	名	医療薬学専門薬剤師		名																																																																				
がん指導専門薬剤師		名	感染制御専門薬剤師		名																																																																				
薬物療法専門薬剤師	1	名	精神科専門薬剤師		名																																																																				
腎臓病薬物療法専門薬剤師		名	栄養サポート専門薬剤師		名																																																																				
日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師	9	名	医薬品情報専門薬剤師		名																																																																				
日本病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師		名	日本病院薬剤師会HIV感染症専門薬剤師		名																																																																				
日本臨床腫瘍薬学 会外来がん治療専門薬剤師		名			名																																																																				
がん薬物療法認定薬剤師		名	抗菌化学療法認定薬剤師	2	名																																																																				
日本医療薬学会 認定薬剤師		名	薬物療法指導薬剤師		名																																																																				
日本医療薬学会 指導薬剤師	4	名	緩和薬物療法認定薬剤師	3	名																																																																				
日本医療薬学会 がん指導薬剤師	2	名	緩和医療暫定指導薬剤師	2	名																																																																				
日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師		名	腎臓病薬物療法認定薬剤師		名																																																																				

認定薬剤師 2021年10月1日現在	日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師		名	腎臓病療養指導士		名
	日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師		名	糖尿病薬物療法認定薬剤師	2	名
	日本病院薬剤師会 生涯研修認定薬剤師	13	名	漢方薬・生薬認定薬剤師	1	名
	日病薬 病院薬学認定薬剤師	24	名	精神科薬物療法認定薬剤師		名
	日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	2	名	NST専門療法士	4	名
	日本臨床薬理学会 認定薬剤師		名	周術期管理チーム薬剤師	1	名
	日本臨床薬理学会 指導薬剤師		名	小児薬物療法	2	名
	日本臨床薬理学会 認定CRC	2	名	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師		名
	日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師	3	名	HIV感染症薬物療法認定薬剤師		名
	日本循環器学会 心不全療養指導士	3	名	高血圧・循環器病予防療養指導士		名
	日本糖尿病療養指導士	5	名	災害医療認定薬剤師		名
	日本褥瘡学会認定師（薬剤師）		名	救急認定薬剤師	1	名
	日本リウマチ財団 リウマチ登録薬剤師		名	核医学認定薬剤師		名
	骨粗鬆症マネージャー		名	医療情報技師	1	名
	日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	2	名	HIV感染症認定薬剤師	1	名
	老年薬学認定薬剤師	1	名	認定クリニカル・トキシコロジスト	1	名
	日本腎臓病協会 腎不全療養指導士	1	名	肝炎医療コーディネーター（兵庫県）	2	名
糖尿病療養指導士兵庫	2	名			名	
治験の実施	契約件数	33 件	2020年5月のデータ			
先進医療(医薬領域)						
在宅医療・薬薬連携	外来患者も参加できる糖尿病教室、心臓病教室、腎臓病教室、消化器病教室、呼吸教室等を通して地域医療に貢献している。					
近隣の薬局・門前など	シミズ調剤薬局 中央市民病院前店	患者数	5486 人	薬剤師数	2 名	西記念 ポートアイランド リハビリテーション病院隣接
	アルカ中央市民病院前薬局	患者数	42770 人	薬剤師数	10 名	市民病院前ビル
	アイン薬局 ポート アイランド店	患者数	1304 人	薬剤師数	2 名	
	フタツカ薬局 中央市民病院前	患者数	2815 人	薬剤師数	4 名	市民病院前ビル
	日本調剤 ポート アイランド薬局	患者数	64561 人	薬剤師数	14 名	市民病院前ビル
備考	労働環境や採用試験 正職員 <a href="http://www.kcho.jp/media/202304_yakuzaishi_bosyuyoko.pdf">http://www.kcho.jp/media/202304_yakuzaishi_bosyuyoko.pdf</a>					
給与	初任給	235760 円	昇給	%	賞与 年 2	
報酬の詳細						
各種手当	期末・勤勉手当(賞与)、扶養手当、住居手当、通勤手当など					
勤務時間	平日	?: ?? ~ ?: ??	※当直勤務有			
労働時間						
週休形態	週休2日制					
休日休暇	年次休暇(20 日)、リフレッシュ休暇(5日)、結婚休暇、誕生日休暇、産前産後休暇、忌服休暇など					
有給休暇						
社会保険	神戸市職員共済組合、雇用保険					
福利厚生						
採用情報	「地方独立行政法人 神戸市民病院機構」神戸市立4病院の採用。神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立医療センター西市民病院、神戸市立西神戸医療センター、神戸市立神戸アイセンター病院					
採用に求められる事項	選択区分を選択（新卒者は年齢の上で選択区分はA） 選考区分A/昭和 63 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、薬剤師免許を有する人又は 2023年度当初 既卒者可までに免許を取得する見込みの人（※薬剤師レジデントとの併願可）					
採用後の配属	神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立医療センター西市民病院、神戸市立西神戸医療センター、神戸市立神戸アイセンター病院のいずれか					
試験方法	第1次/専門（専門的知識について出題）、教養（一般教養について出題） 第2次/口頭試問（個別面接）					
提出書類・提出方法	WEB エントリーでの申込となります。当機構ホームページ上で( <a href="http://www.kcho.jp/">http://www.kcho.jp/</a> )でエントリーを開始する際に、詳細のエントリー方法についても公開予定 ○WEB エントリーURL <a href="https://www.career-cloud.asia/23/form/entryb/index/d64a8518032c7d7c3f53a2f9b465d7e0">https://www.career-cloud.asia/23/form/entryb/index/d64a8518032c7d7c3f53a2f9b465d7e0</a>					
労働環境や採用試験（参考）	レジデント <a href="https://chuo.kcho.jp/app/wp-content/uploads/2022/03/resident01.pdf">https://chuo.kcho.jp/app/wp-content/uploads/2022/03/resident01.pdf</a>					
給与	給与	時給/1830円(6年制薬学卒の場合)				
報酬の詳細						
各種手当	交通費支給					
社会保険	健康保険有					
採用情報	2年間で、実務経験に根ざした講義と臨床実務実習を通して、高度医療に対応した臨床薬剤業務並びにチーム医療を実践できる薬剤師を養成する。					
採用に求められる事項	*正規職員との併願も可能				既卒者可	

採用後の配属	神戸市立医療センター中央市民病院・西市民病院・西神戸医療センター 薬剤師レジデント 採用数/合わせて数名	
試験方法	筆記試験（医療薬学分野、英語）および面接	
提出書類	1.応募用紙：所定用紙（写真（たて4cm×よこ3cm）貼付のこと） 枚数不足の場合は、同封のものをコピーするかホームページからダウンロード。 2.成績証明書（大学または大学院） 3.卒業・修了証明書または卒業・修了見込み証明書 4.通常はがき（日本郵便）1枚（宛先欄に住所、氏名、郵便番号を記載したもの） 以上を「薬剤師レジデント応募書類」と朱書きした封筒で郵送	
神戸市立医療センター中央市民病院の最寄駅	「三宮駅」と「神戸駅」から神姫バス 「医療センター駅前」下車 「三宮」よりポートライナー神戸空港行きに乗車、「医療センター駅」下車	
採用部署	新卒者	地方独立行政法人神戸市民病院機構 法人本部総務課職員係 コメディカル職員採用担当 〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目2番地 中央市民病院南館3階
	レジデント	650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1-1 神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部長
	見学申込	<a href="mailto:c_pharm-publicity@kcho.jp">c_pharm-publicity@kcho.jp</a> 件名は、【見学申込】
正職員	TEL 078-940-0381(ダイヤルイン)	Mail
レジデント	TEL 078-302-4321 FAX 078-302-7537	
詳細問い合わせ		
備考	ホームページ/ <a href="http://www.kcho.jp/">http://www.kcho.jp/</a>	